

## 資料

### 1. 市民意向調査

#### 1 調査概要

##### (1) 住宅・住環境に関するアンケート調査（以下「子育て・若者夫婦世帯意向調査」という。）

###### a. 調査の目的

子育て・若者夫婦世帯意向調査は、市内に居住する子どもがいる世帯又は若者夫婦世帯の住宅・住環境満足度・要望などに関する意向を把握し、本計画策定の参考とすることを目的とします。

###### b. 調査概要

- ・調査時点 : 令和7年5月1日現在
- ・調査期間 : 令和7年5月12日～5月30日
- ・調査対象 : 以下に該当する世帯のうち無作為抽出した2,000世帯
  - ・中学生以下の子どもがいる子育て世帯（1,000世帯）
  - ・本市に居住する夫婦いずれかが39歳以下の夫婦世帯（1,000世帯）
- ・配布・回収方法 : 配布（郵送）・回収（郵送又はWeb回答）
- ・回収数・回収率 : 602票（郵送291票、web311票）・30.1%

##### (2) 市営住宅に関するアンケート調査（以下「市営住宅等入居者意向調査」という。）

###### a. 調査の目的

市営住宅等入居者意向調査は、市営住宅等入居者の現在住んでいる市営住宅等の評価、改善要望を把握し、「滝川市公営住宅等長寿命化計画」策定の参考とすることを目的としています。

###### b. 調査概要

- ・調査時点 : 令和7年5月1日現在
- ・調査期間 : 令和7年5月12日～5月30日
- ・調査対象 : 市営住宅等に入居する1,202世帯
- ・配布・回収方法 : 配布（郵送）・回収（郵送又はWeb回答）
- ・回収数・回収率 : 522票（郵送490票、web32票）・43.4%

アンケート調査票は、団地別の現況や意向を把握するために、老朽化が進み将来的に集約化等の検討が必要な団地（以下「老朽化団地」という。）と、それ以外の団地（以下「耐用年数内団地」という。）に区分し調査しました。



表 団地別回収率

アンケート種類	団地名	配布数	回収数	回収率
耐用年数内団地	一の坂団地	94	40	42.6%
	江陵団地	77	30	39.0%
	みずほ団地	113	49	43.4%
	見晴団地	40	22	55.0%
	啓南団地	166	79	47.6%
	新町団地	15	10	66.7%
	駅前団地さかえ	19	13	68.4%
	東町団地	88	44	50.0%
	緑町団地	39	16	41.0%
	泉町団地	38	17	44.7%
	開西団地	20	13	65.0%
	銀川団地	109	47	43.1%
	西町団地	2	1	50.0%
	見晴特公賃	13	3	23.1%
小計		833	384	46.1%
老朽化団地	滝の川団地	225	83	36.9%
	江南団地	52	21	40.4%
	新興団地	10	5	50.0%
	北辰団地	50	20	40.0%
	東滝川団地	6	0	0.0%
	東栄団地	26	9	34.6%
	小計	369	138	37.4%
合計		1,202	522	43.4%

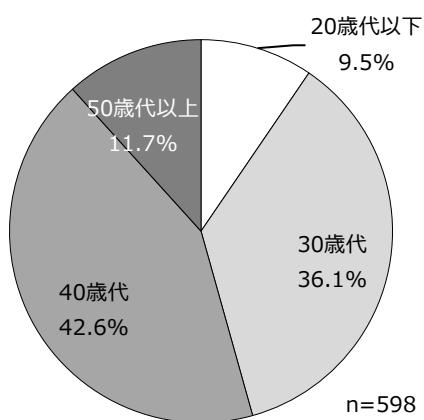
## 2 子育て・若者夫婦世帯意向調査結果（概要）

### （1）回答世帯の属性

#### a. 世帯主の年齢

回答世帯の世帯主年齢は、「40歳以上」が42.6%で最も高く、以下、「30歳代」が36.1%、「50歳代以上」が11.7%、「20歳代以下」が9.5%です。

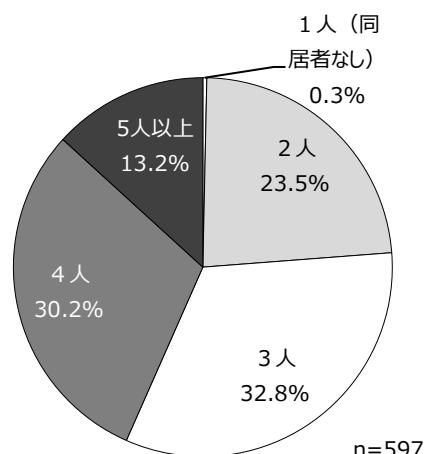
図 世帯主の年齢



#### b. 家族人数

回答世帯の家族人数は、「3人」が32.8%で最も高く、以下、「4人」が30.2%、「2人」が23.5%、「5人以上」が13.2%です。

図 家族人数

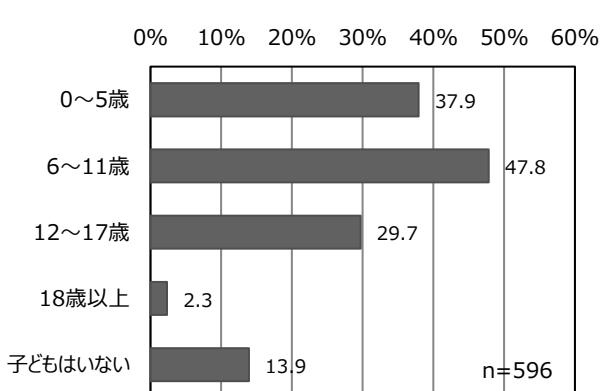


#### c. 子どもの年齢（複数回答）

回答世帯の子どもの年齢（複数回答）は、「6～11歳」が47.8%で最も高く、「0～5歳」が37.9%、「12～17歳」が29.7%となっています。

一方で、「子どもはない」が13.9%です。

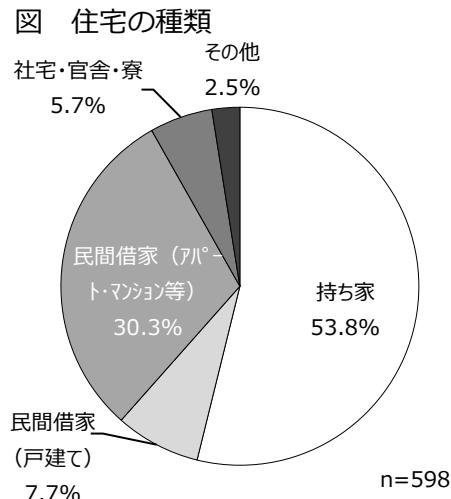
図 子どもの年齢（複数回答）





#### d. 住宅の種類

居住する住宅の種類は、「持ち家」が 53.8% で最も高く、以下、「民間借家（アパート・マンション等）」が 30.3%、「民間借家（戸建て）」が 7.7% です。

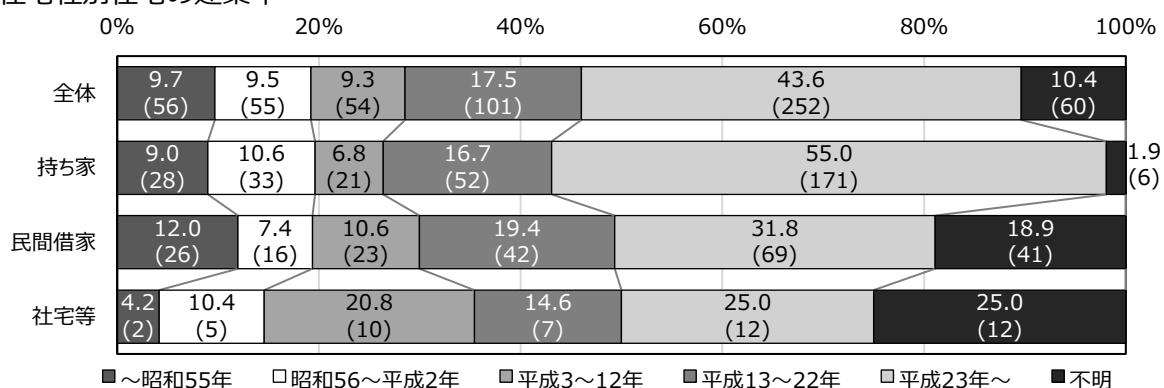


#### e. 住宅の建築年

現在の住宅の建築年は、「平成 23（2011）年～」が 43.6% で最も高く、次いで、「平成 13（2001）～平成 22（2010）年」が 17.5% です。一方で、旧耐震基準である「～昭和 55（1980）年」は 9.7% です。

住宅種別にみると、持ち家は過半が「平成 23（2011）年～」である一方で、民間借家は 3 割に留まっています。

図 住宅種別住宅の建築年

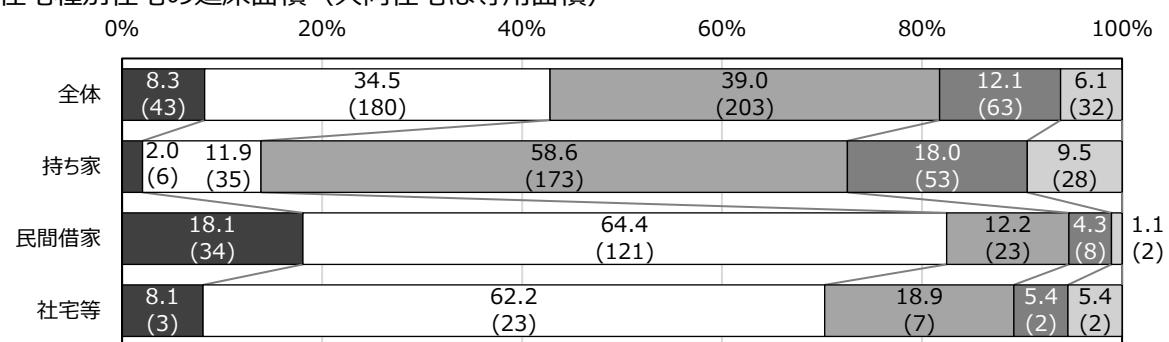


#### f. 住宅の延床面積

居住住宅の延床面積（共同住宅は専用面積）は、「100 m<sup>2</sup> (30 坪) ～150 m<sup>2</sup> (45 坪) 未満」が 39.0% で最も高く、次いで「50 m<sup>2</sup> (15 坪) ～100 m<sup>2</sup> (30 坪) 未満」が 34.5% です。

住宅種別にみると、持ち家は「100 m<sup>2</sup> (30 坪) ～150 m<sup>2</sup> (45 坪) 未満」が約 6 割を占める一方で、民間借家は「50 m<sup>2</sup> (15 坪) ～100 m<sup>2</sup> (30 坪) 未満」が 6 割を占めています。

図 住宅種別住宅の延床面積（共同住宅は専用面積）



■ 50m<sup>2</sup> (15坪) 未満  
□ 50m<sup>2</sup> (15坪) ～100m<sup>2</sup> (30坪) 未満  
■ 100m<sup>2</sup> (30坪) ～150m<sup>2</sup> (45坪) 未満  
■ 150m<sup>2</sup> (45坪) ～200m<sup>2</sup> (60坪) 未満  
□ 200m<sup>2</sup> (60坪) 以上

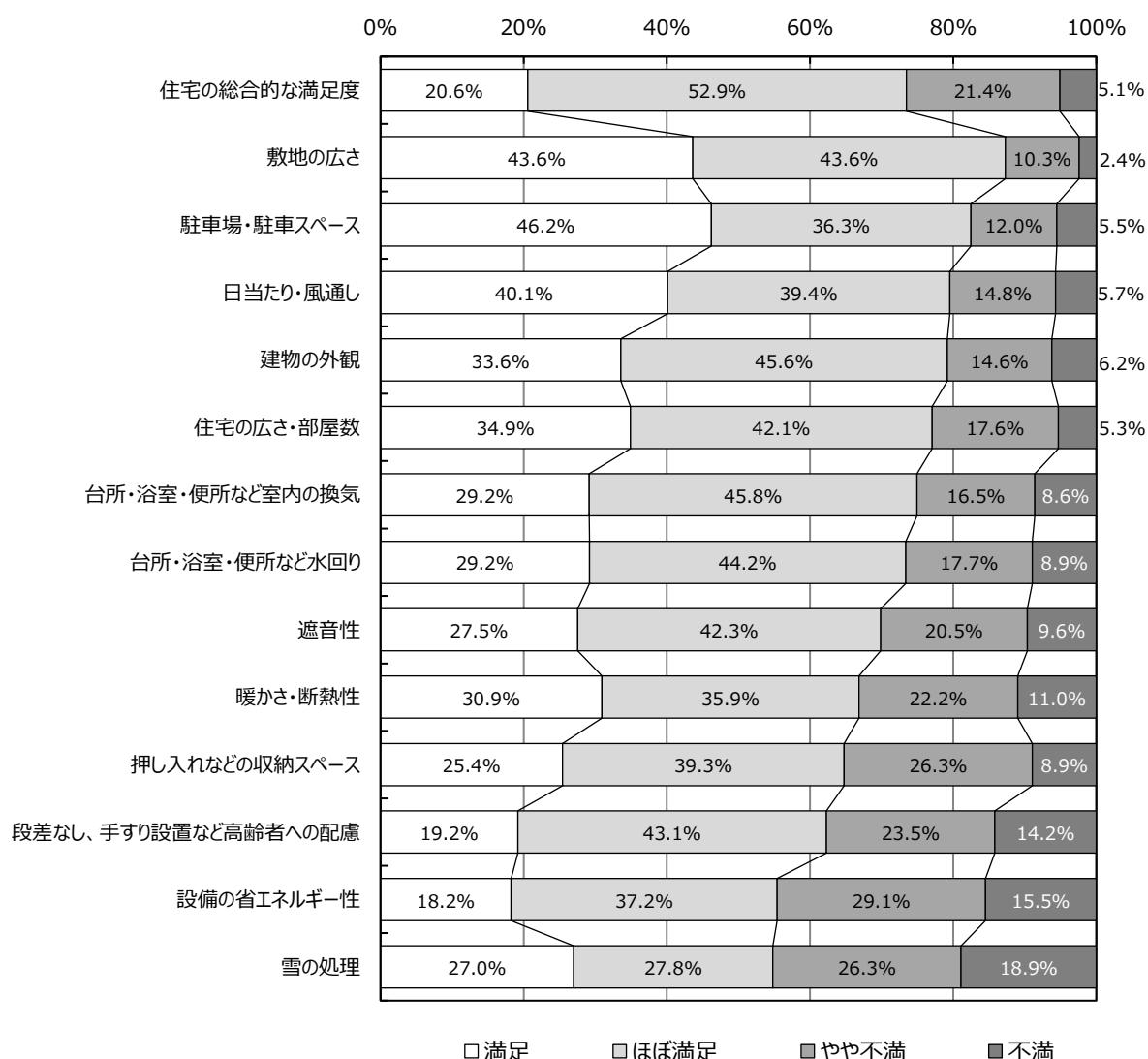
## (2) 住宅の満足度

現在の住宅に関する総合的な満足度及び具体的な住宅に関する13項目の満足度をみると、全ての項目で満足傾向（「満足」及び「ほぼ満足」の合計）が不満傾向（「やや不満」及び「不満」の合計）を上回っています。

住宅の総合的な満足傾向に比べ、満足傾向が高い項目は4項目あり、高い順に、「敷地の広さ」が87.2%、「駐車場・駐車スペース」が82.5%、「日当たり・風通し」が79.5%、「建物の外観」が79.2%となっています。

一方で満足傾向が低い項目は、低い順に「雪の処理」が54.8%、「設備の省エネルギー性」が55.4%、「段差なし、手すり設置など高齢者への配慮」が62.3%、「押入れなどの収納スペース」が64.7%となっています。

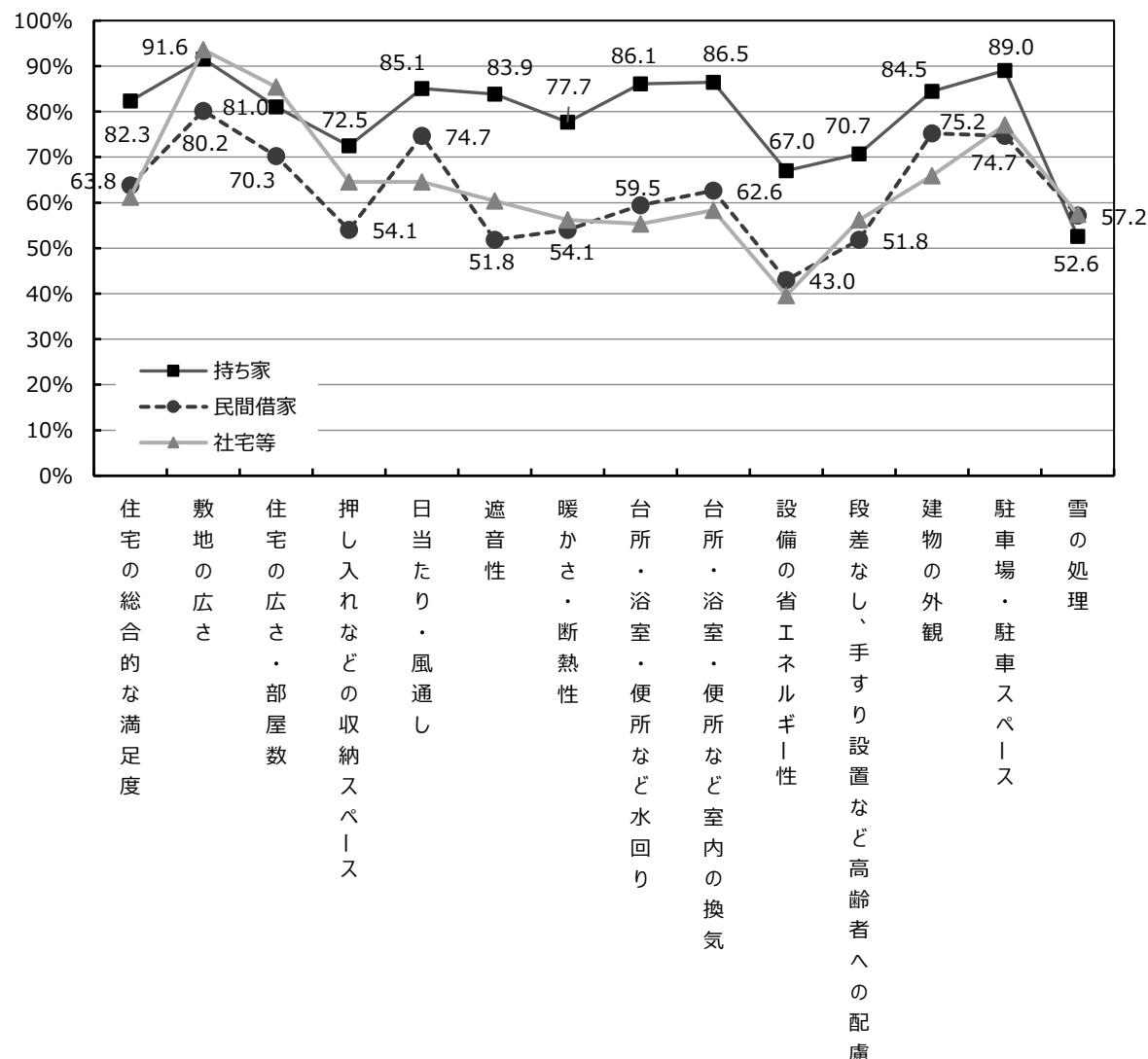
図 住宅の総合的な満足度・項目別満足度





住宅種別に満足傾向をみると、「雪の処理」を除いた全ての項目で、持ち家が民間借家を上回っています。

図 住宅種別住宅の総合的な満足傾向・項目別満足傾向の比較



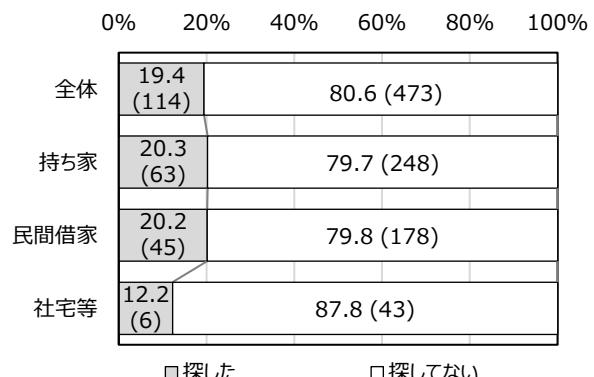
### (3) 住宅探し・業者選定の状況

#### a. 周辺の市町村での住宅探し

住宅探しにおける周辺の市町村での住宅探しについては、19.4%が周辺の市町村も探しています。

住宅種別にみると、持ち家と民間借家に大きな違いは見られません。

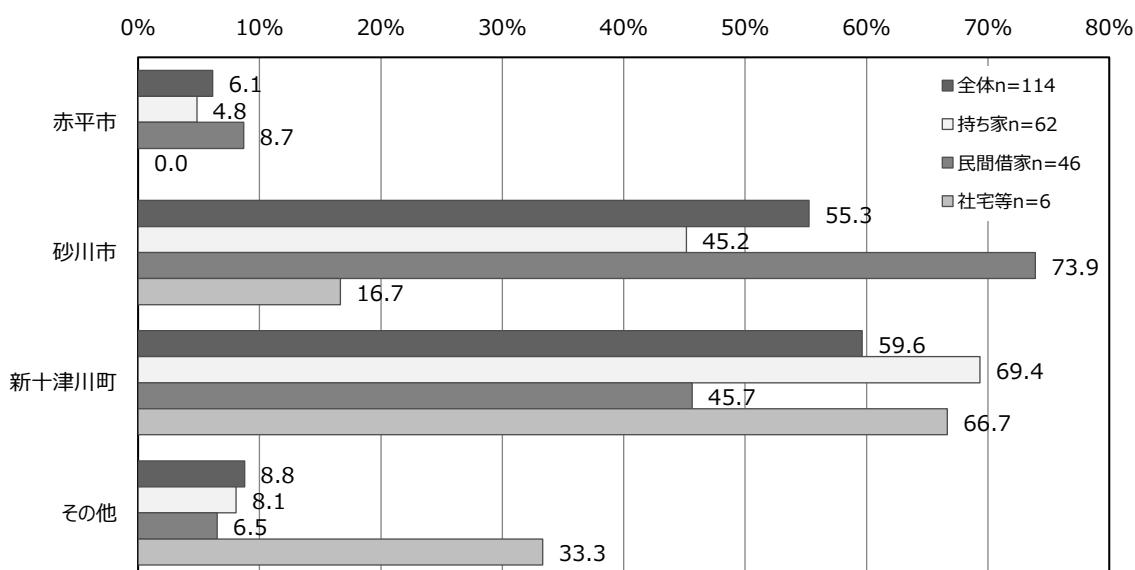
#### 図 住宅種別周辺の市町村での住宅探し



#### b. 住宅を探した市町村（複数回答）

前問で周辺の市町村で住宅した回答世帯のうち、住宅を探した市町村（複数回答）は、「新十津川町」が59.6%で最も高く、次いで「砂川市」が55.3%です。住宅種別にみると、持ち家は「新十津川町」が69.4%、民間借家は「砂川市」が73.9%となっています。

#### 図 住宅種別住宅を探した市町村（複数回答）

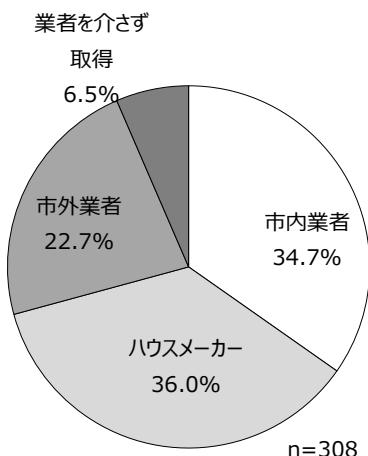




### c. 住宅を建設・購入した業者（持ち家居住者）

持ち家居住者の住宅を建設・購入した業者は、「ハウスメーカー」が36.0%で最も高く、「市内業者」は34.7%となっています。

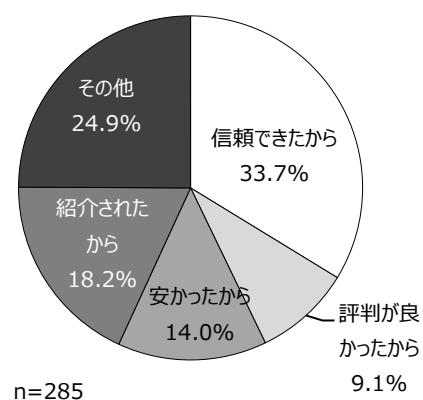
図 住宅を建設・購入した業者（持ち家居住者）



### d. 業者を選んだ理由（持ち家居住者）

cで、業者を選んだ理由は、「信頼できたから」が33.7%で最も高く、次いで「紹介されたから」が18.2%です。

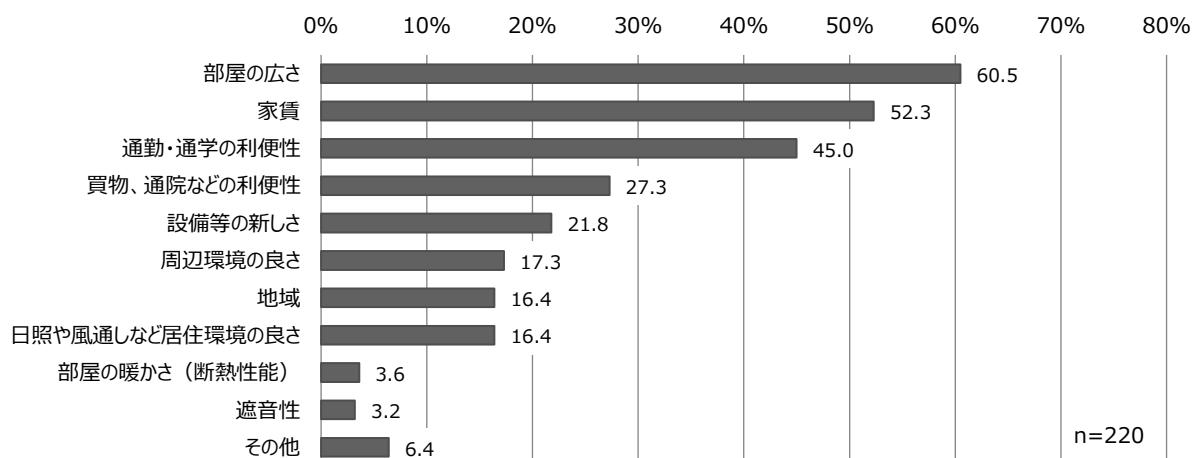
図 業者を選んだ理由（持ち家居住者）



### e. 住宅を選ぶ際に重視したこと（民間借家居住者・複数回答）

民間借家居住者の住宅を選ぶ際に重視したこと（複数回答）は、「部屋の広さ」が60.5%で最も高く、以下、「家賃」が52.3%、「通勤・通学の利便性」が45.0%となっています。

図 住宅を選ぶ際に重視したこと（民間借家居住者・複数回答）

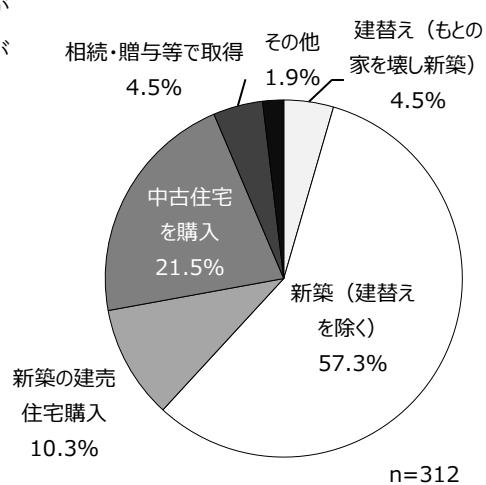


#### (4) 住宅取得時のリフォーム実施状況等（持ち家居住者）

##### a. 持ち家の入居経緯

持ち家の入居経緯は、「新築（建替えを除く）」が57.3%で最も高く、次いで、「中古住宅を購入」が21.5%です。

図 持ち家の入居経緯



##### b. 2～3年以内のリフォーム意向と内容、予算

持ち家居住者の2、3年以内のリフォーム意向は「リフォームをしたい」が17.1%であり、「リフォームをしたい」又は「その他」回答者のリフォーム予算は、「200万円以上」が37.3%で最も高く、以下、「50万円未満」が23.7%、「50～100万円未満」が20.3%、「100～200万円未満」が18.6%となっています。

図 2～3年以内のリフォーム意向

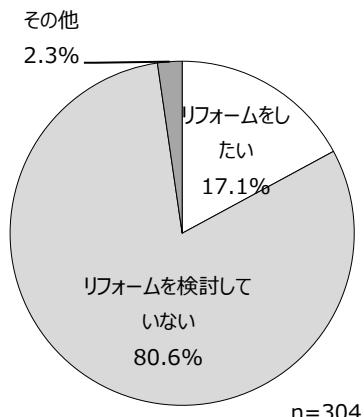
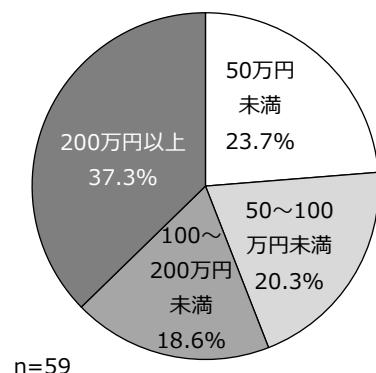


図 リフォーム予算  
(リフォーム意向者)



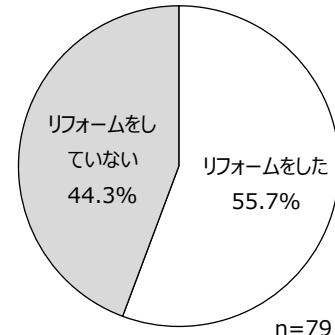


※ c・dについては、持ち家を「中古住宅で購入」又は「相続・贈与等で取得」した方のみ回答

### c. 中古住宅又は相続・贈与等による住宅取得時のリフォーム実施状況

中古住宅又は相続・贈与等による住宅取得時のリフォーム実施状況は、「リフォームをした」が 55.7%、「リフォームをしていない」が 44.3% となっています。

図  
住宅取得時のリフォーム実施状況



### d. リフォームの内容（複数回答）・実施業者

bで「リフォームをした」の回答者のリフォームの内容（複数回答）は、「台所・便所・浴室などの水回りの改修」が 75.0% で最も高く、以下、「天井・床・壁などの内装改修」が 72.7%、「外壁や屋根などの改修工事」が 54.5% となっています。

リフォーム実施業者は、「市内業者」が 50.0% で最も高く、次いで「ハウスメーカー」が 28.6% となっています。

図 リフォームの内容（複数回答）

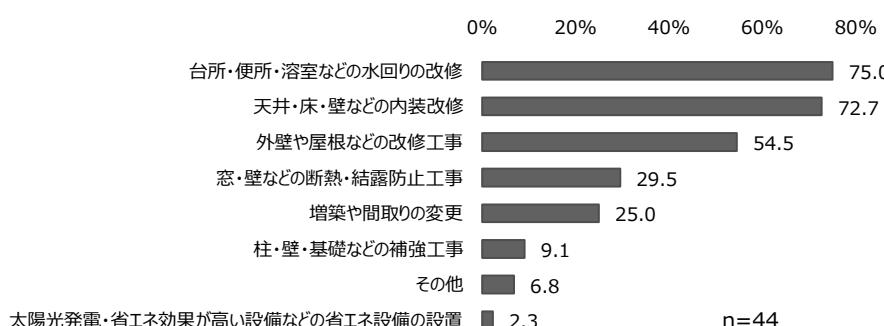
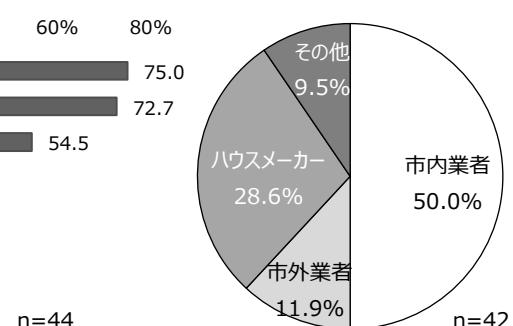


図 リフォーム実施業者

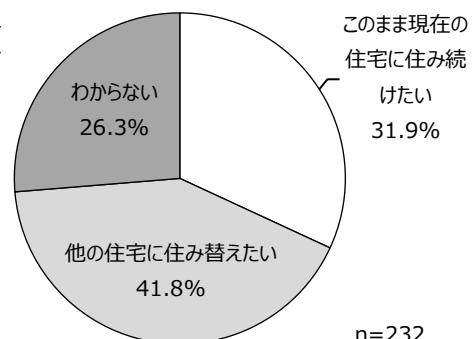


## (5) 住替え意向（民間借家居住者）

### a. 今の住宅からの住替え意向

今の住宅からの住替え意向については、「このまま住み続けたい」が31.9%、「他の住宅に住替えたい」が41.8%、「わからない」が26.3%となっています。

図 住替え意向

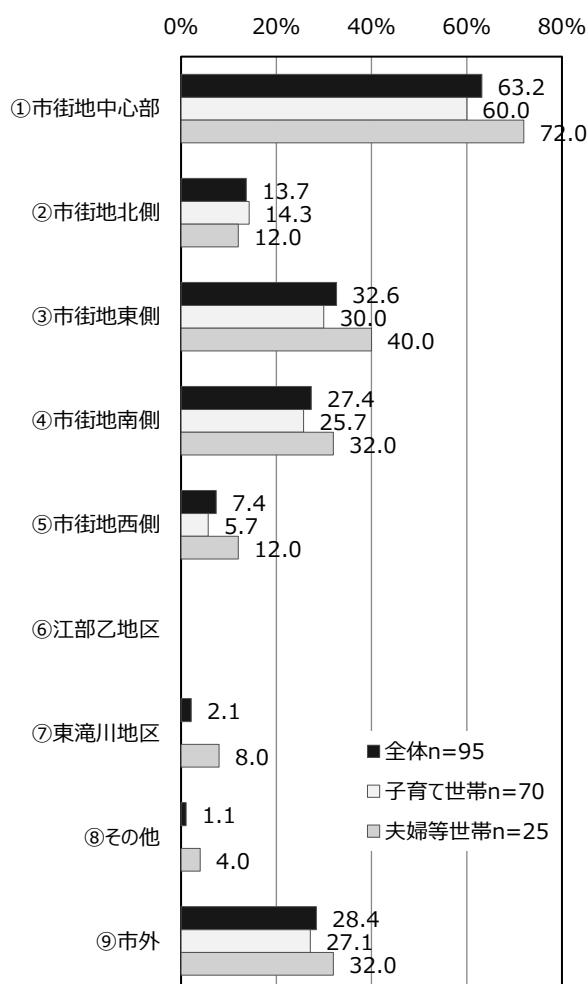


### b. 希望の住替え先（複数回答）

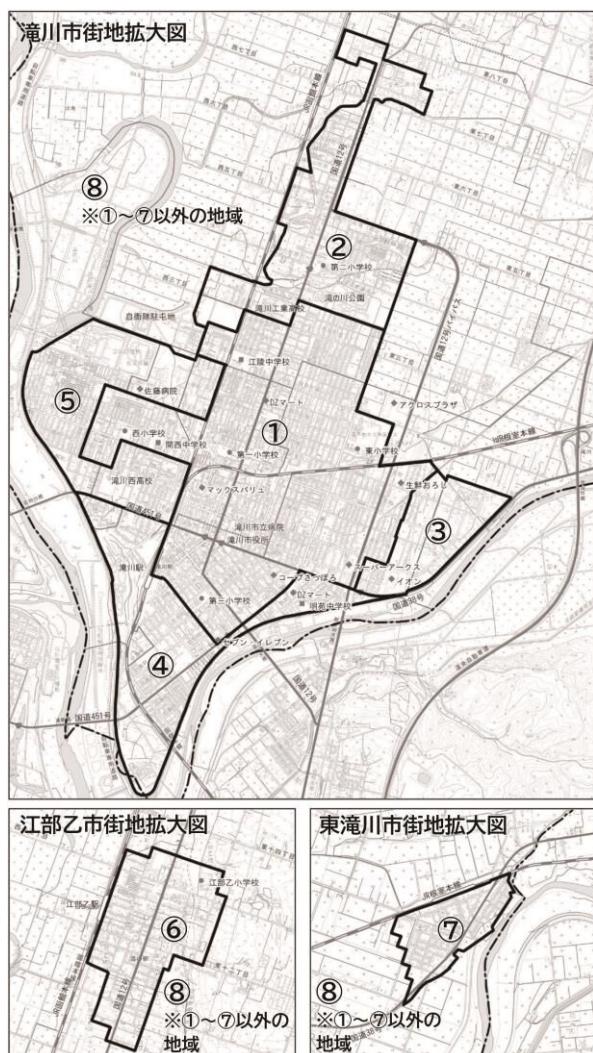
aで「他の住宅に住み替えたい」の回答者の希望の住替え先（複数回答）は、「市街地中心部」が63.2%で最も高く、次いで「市街地東側」が32.6%です。一方で、「市外」が28.4%となっています。

世帯別による大きな違いは見られません。

図 世帯別希望の住替え先（複数回答）



(参考) 地区区分



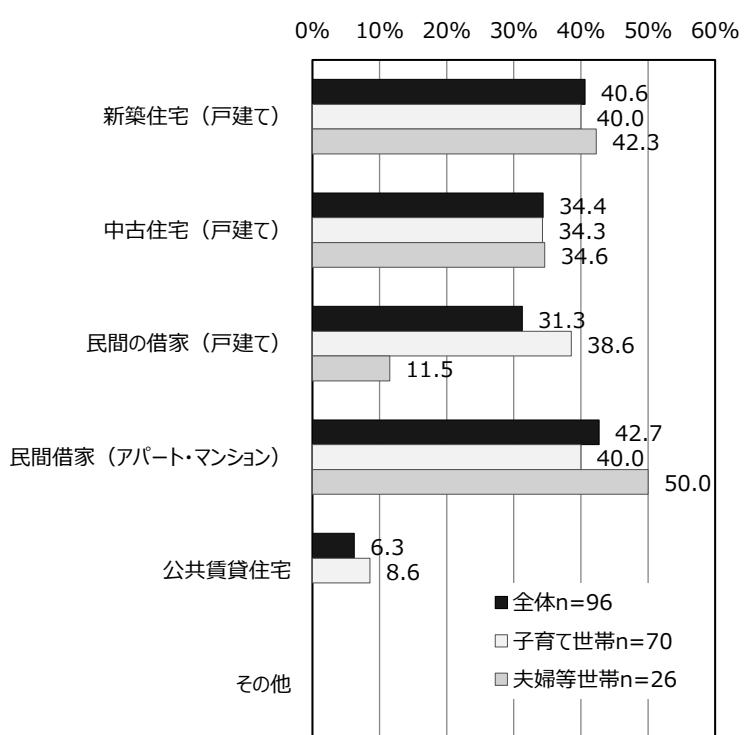


### c. 住替え希望の住宅種類（複数回答）

aで「他の住宅に住み替えたい」の回答者の住替え希望の住宅種類（複数回答）は、「民間借家（アパート・マンション）」が42.7%で最も高く、以下、「新築住宅（戸建て）」が40.6%、「中古住宅（戸建て）」が34.4%となっています。

なお「新築住宅（戸建て）」又は「中古住宅（戸建て）」に回答した住宅取得希望の方（新築・中古の重複回答者を除く割合）は、59.4%です。

図 世帯別住替え希望の住宅種類（複数回答）



### d. 新築住宅又は中古住宅の購入予算

#### （「新築住宅（戸建て）」又は「中古住宅（戸建て）」住替え希望者）

前問で「新築住宅（戸建て）」回答者の新築住宅購入予算は、「3,000万円未満」が35.9%で最も高く、「中古住宅（戸建て）」回答者の中古住宅購入予算は、「1,000万円未満」及び「1,500～2,000万円未満」が30.3%で最も高くなっています。

図 新築住宅の購入予算

（「新築住宅（戸建て）」住替え希望者）

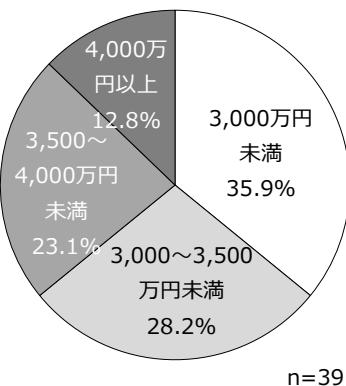
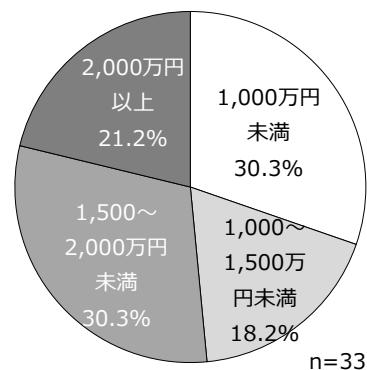


図 中古住宅の購入予算

（「中古住宅（戸建て）」住替え希望者）

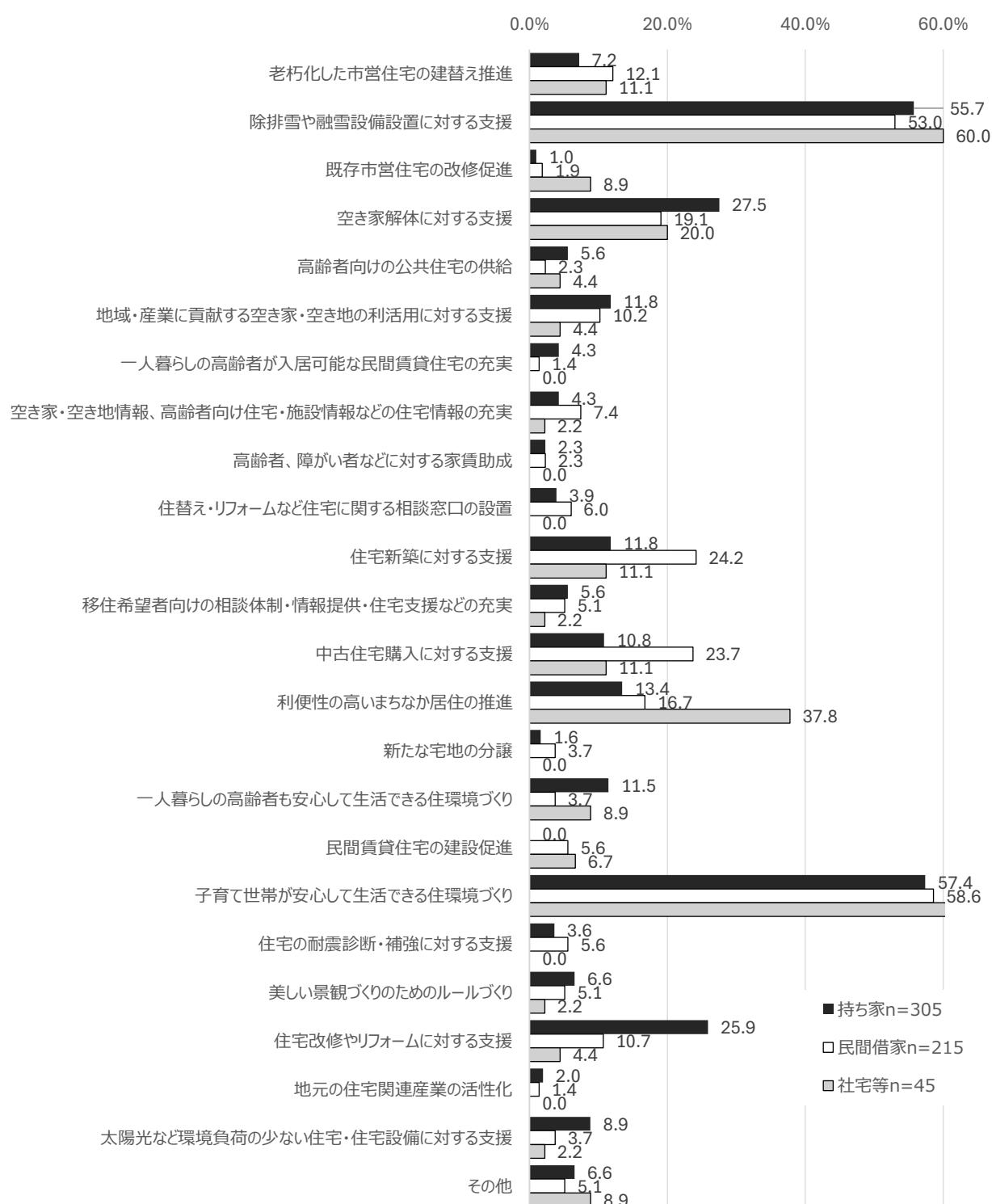


### (6) 市として取り組むべき住宅関連施策（住宅種別・複数回答）

今後、市として取り組むべき住宅関連施策（複数回答）は、「子育て世帯が安心して生活できる住環境づくり」が最も高く、次いで「除排雪や融雪設備設置に対する支援」であり、この2つが過半を超えていました。

住宅種別では、持ち家は他に比べて「住宅改修やリフォームに対する支援」が高く、民間借家は他に比べて「住宅新築に対する支援」及び「中古住宅購入に対する支援」が高くなっています。

図 住宅種別市として取り組むべき住宅関連施策（複数回答）





### 3 市営住宅等入居者意向調査結果（概要）

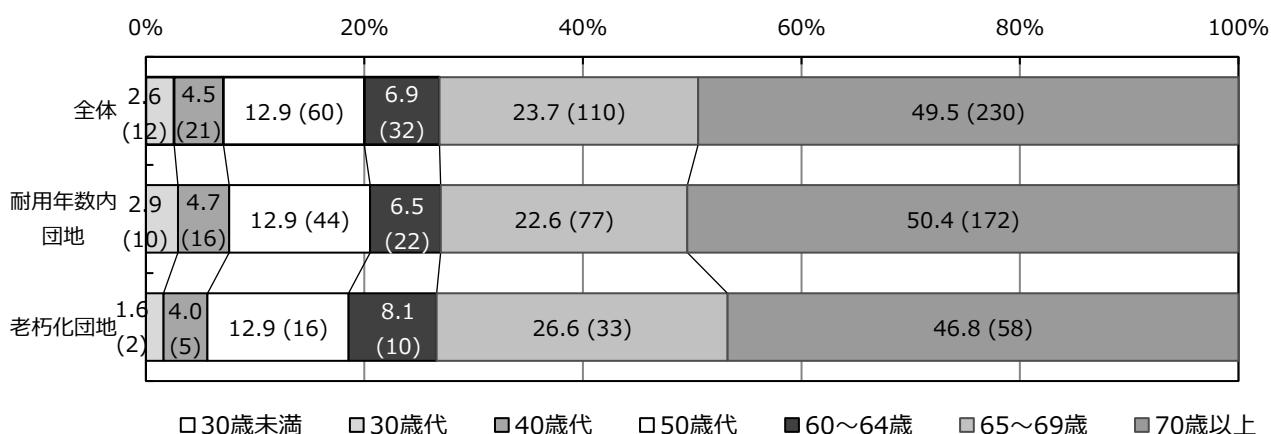
#### （1）回答世帯の属性

##### a. 世帯主の年齢

世帯主の年齢は、「70歳以上」が49.5%で最も高く、次いで「65～69歳」が23.7%です  
あり、65歳以上の高齢者が7割を超えていいます。

対象別にみると、耐用年数内団地と老朽化団地で大きな違いは見られません。

図 対象別世帯主の年齢

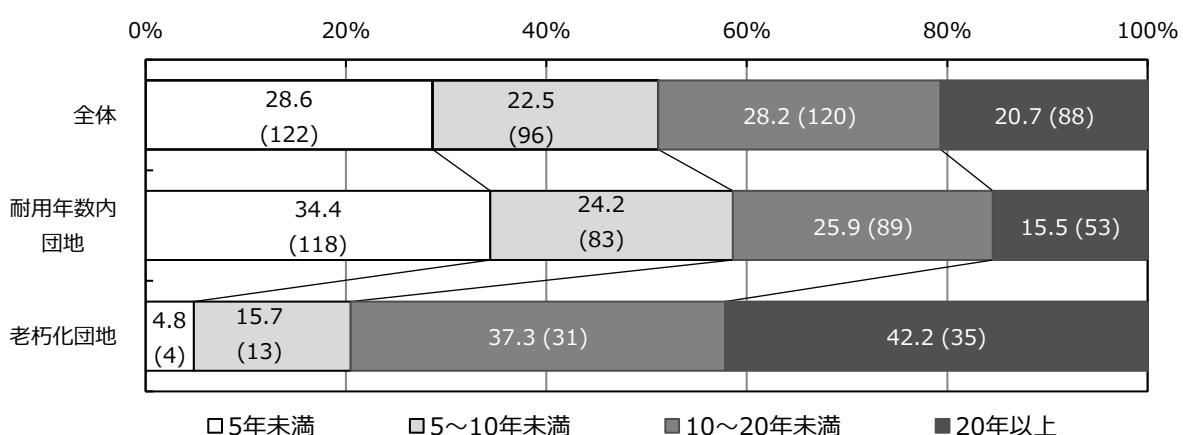


##### b. 居住年数

現在の住まいでの居住年数は、「5年未満」が28.6%で最も高く、次いで「10年～20年未満」が28.2%です。

対象別にみると、耐用年数内団地は「5年未満」が34.4%で最も高い一方で、老朽化団地は4.8%です。老朽化団地は「20年以上」が42.2%で最も高くなっています。

図 対象別居住年数



## (2) 住宅・周辺環境の満足度

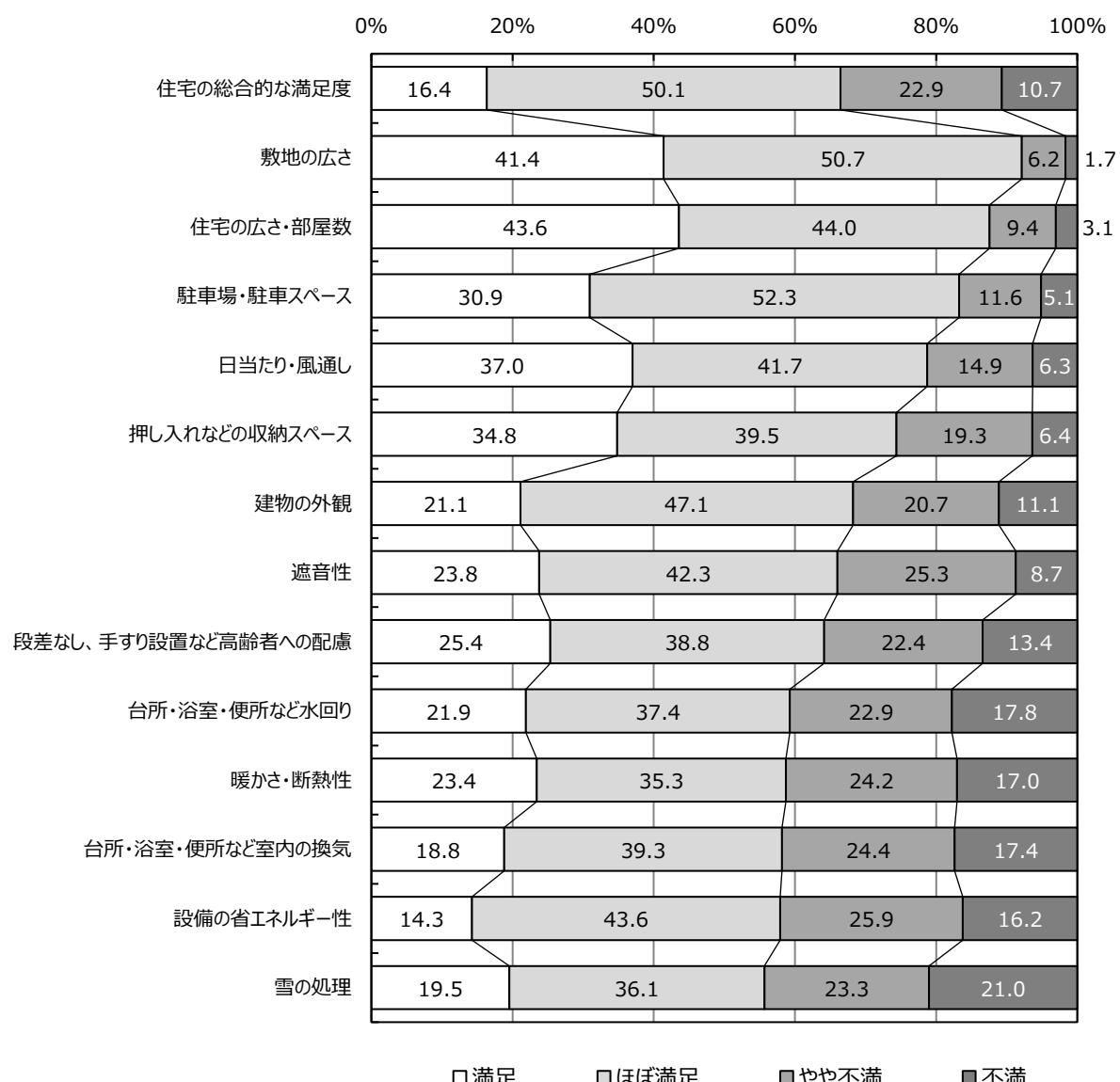
### a. 住宅の満足度

現在の住宅に関する総合的な満足度及び具体的な13項目の満足度をみると、全項目で満足傾向が不満傾向を上回っています。

住宅の総合的な満足度に比べ、満足傾向が高い項目は6項目で、高い順に「敷地の広さ」が92.1%、「住宅の広さ・部屋数」が87.6%、「駐車場・駐車スペース」が83.2%、「日当たり・風通し」が78.7%、「押し入れなどの収納スペース」が74.3%、「建物の外観」が68.2%となっています。

一方で満足傾向が低い項目は、低い順に「雪の処理」が55.6%、「設備の省エネルギー性」が57.9%、「台所・浴室・便所など室内の換気」が58.1%となっています。

図 住宅の総合的な満足度・項目別満足度

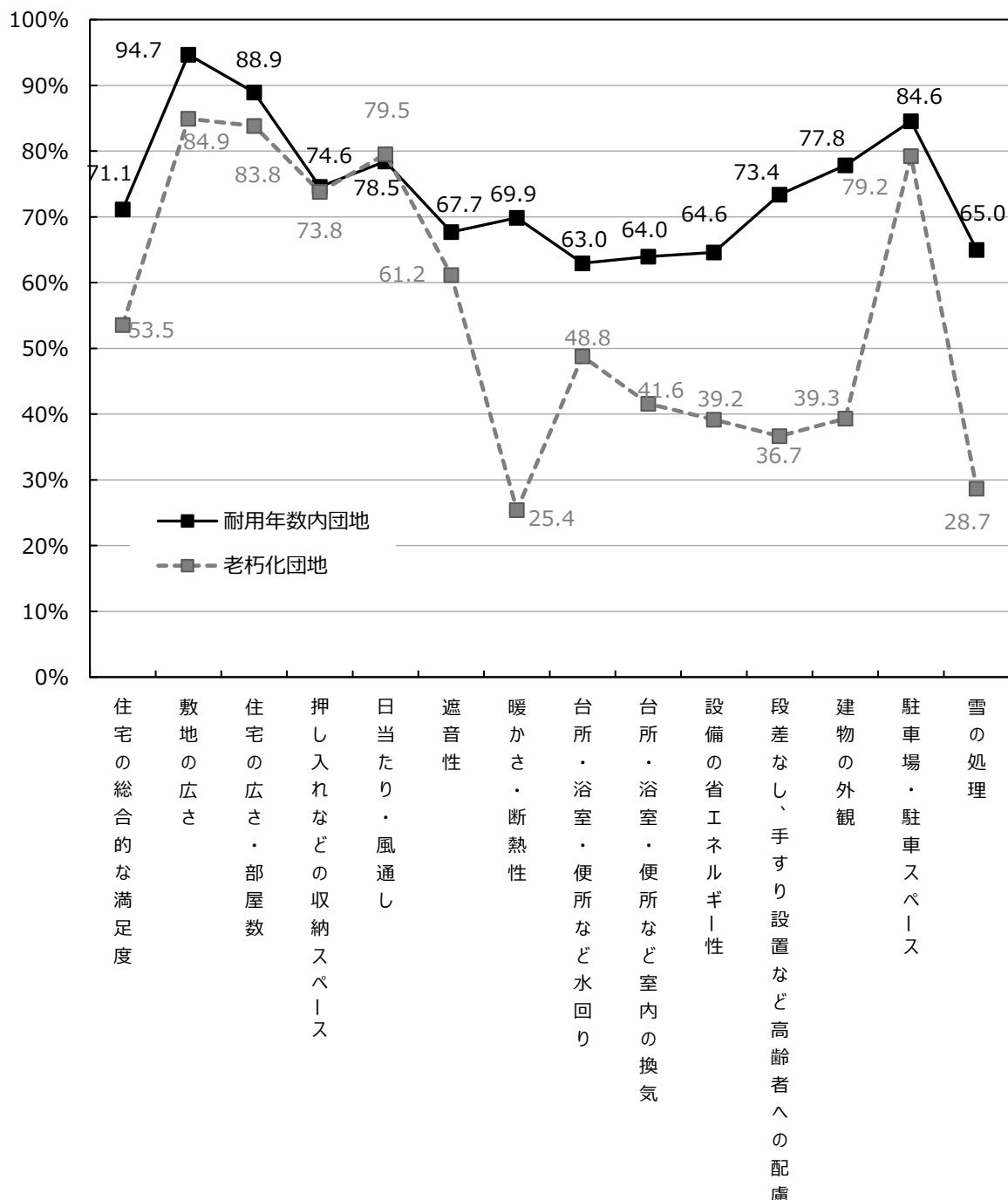


□満足 □ほぼ満足 □やや不満 □不満



対象別に満足傾向をみると、「日当たり・風通し」を除いた項目で耐用年数内団地が老朽化団地を上回っています。特に、「暖かさ・断熱性」は44.5ポイント、「建物の外観」は38.5ポイント、「段差なし・手すり設置など高齢者への配慮」が36.7ポイント、「雪の処理」が36.3ポイントとそれぞれ大きく上回っています。

図 対象別住宅の総合的な満足傾向・項目別満足傾向の比較



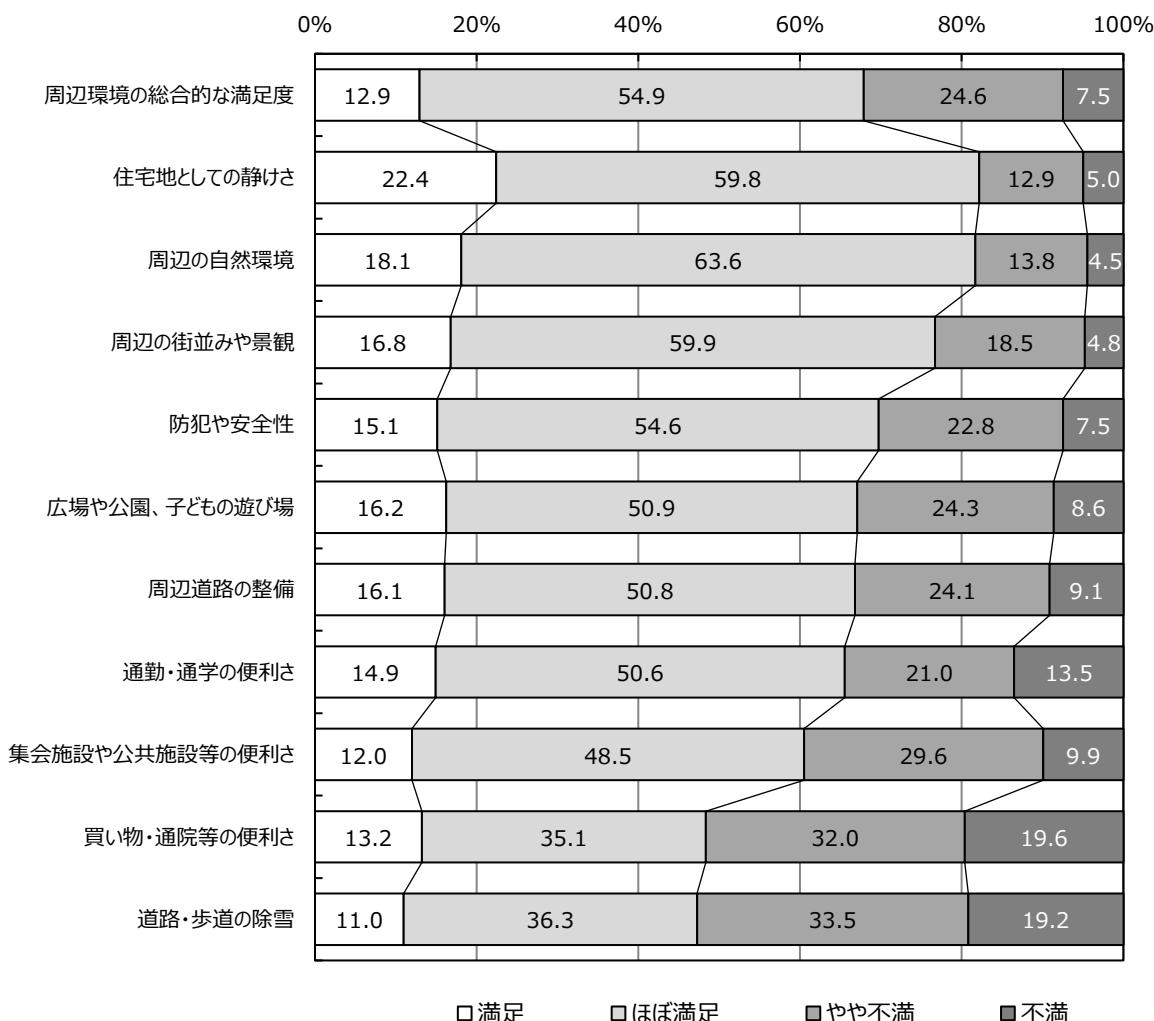
### b. 周辺環境の満足度

住宅周辺の環境に関する総合的な満足度及び具体的な10項目の満足度をみると、「買い物・通院等の便利さ」及び「道路・歩道の除雪」以外の項目で満足傾向が不満傾向を上回っています。

周辺環境の総合的な満足度に比べ、満足傾向の割合が高い項目は4項目で、高い順に「住宅地としての静けさ」が82.2%、「周辺の自然環境」が81.7%、「周辺の街並みや景観」が76.7%、「防犯や安全性」69.7%となっています。

一方で満足傾向が低い項目は、低い順に「道路・歩道の除雪」が47.3%、「買い物・通院等の便利さ」が48.3%、「集会施設や公共施設等の便利さ」が60.5%となっています。

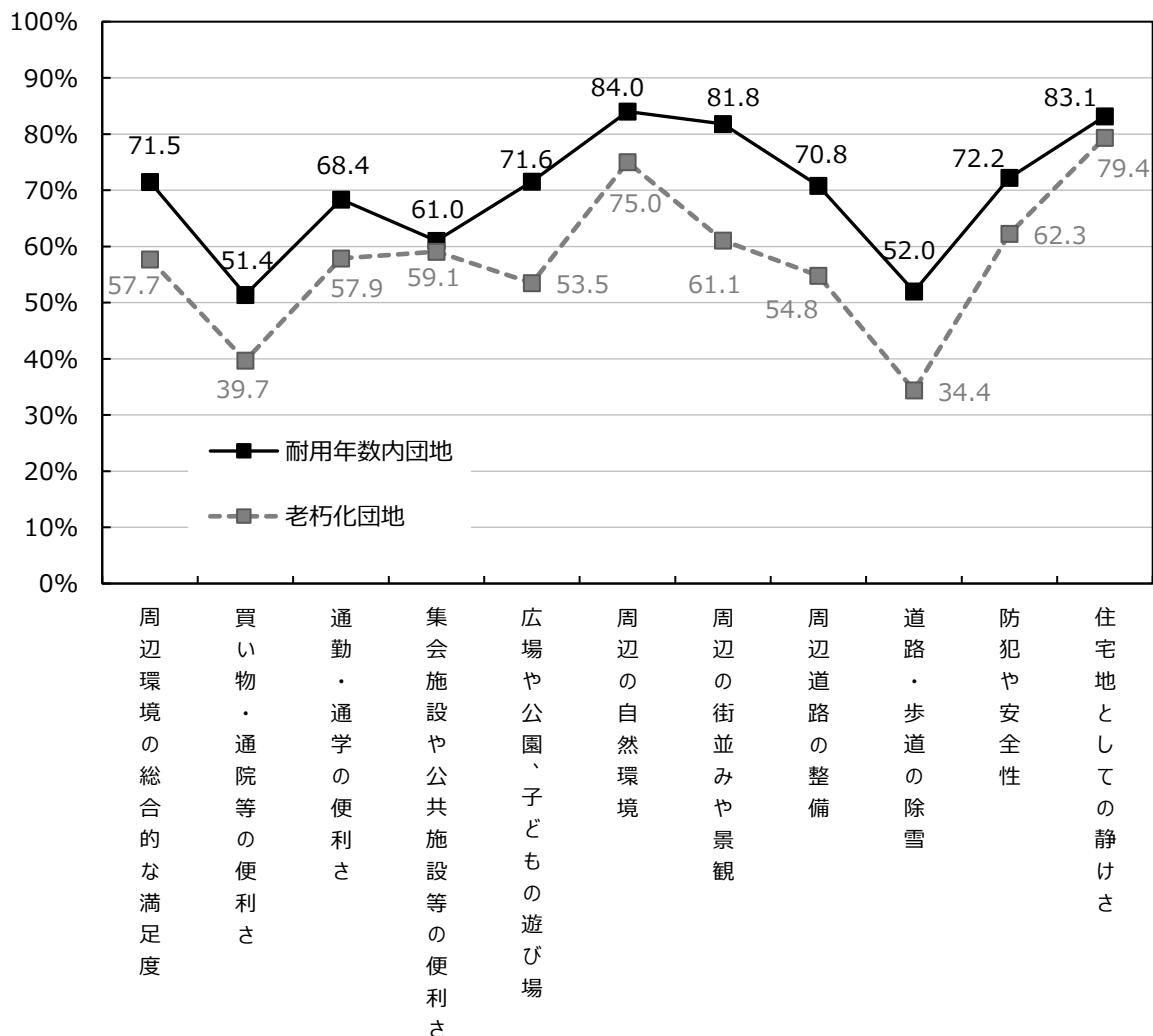
図 住宅周辺環境の総合的な満足度・項目別満足度





対象別に満足傾向をみると、全ての項目で耐用年数内団地が老朽化団地を上回っています。特に、「周辺の街並みや景観」は 20.7 ポイント、「広場や公園、子どもの遊び場」は 18.1 ポイント、「道路・歩道の除雪」が 17.6 ポイントとそれぞれ大きく上回っています。

図 対象別住宅周辺環境の総合的な満足傾向・項目別満足傾向の比較



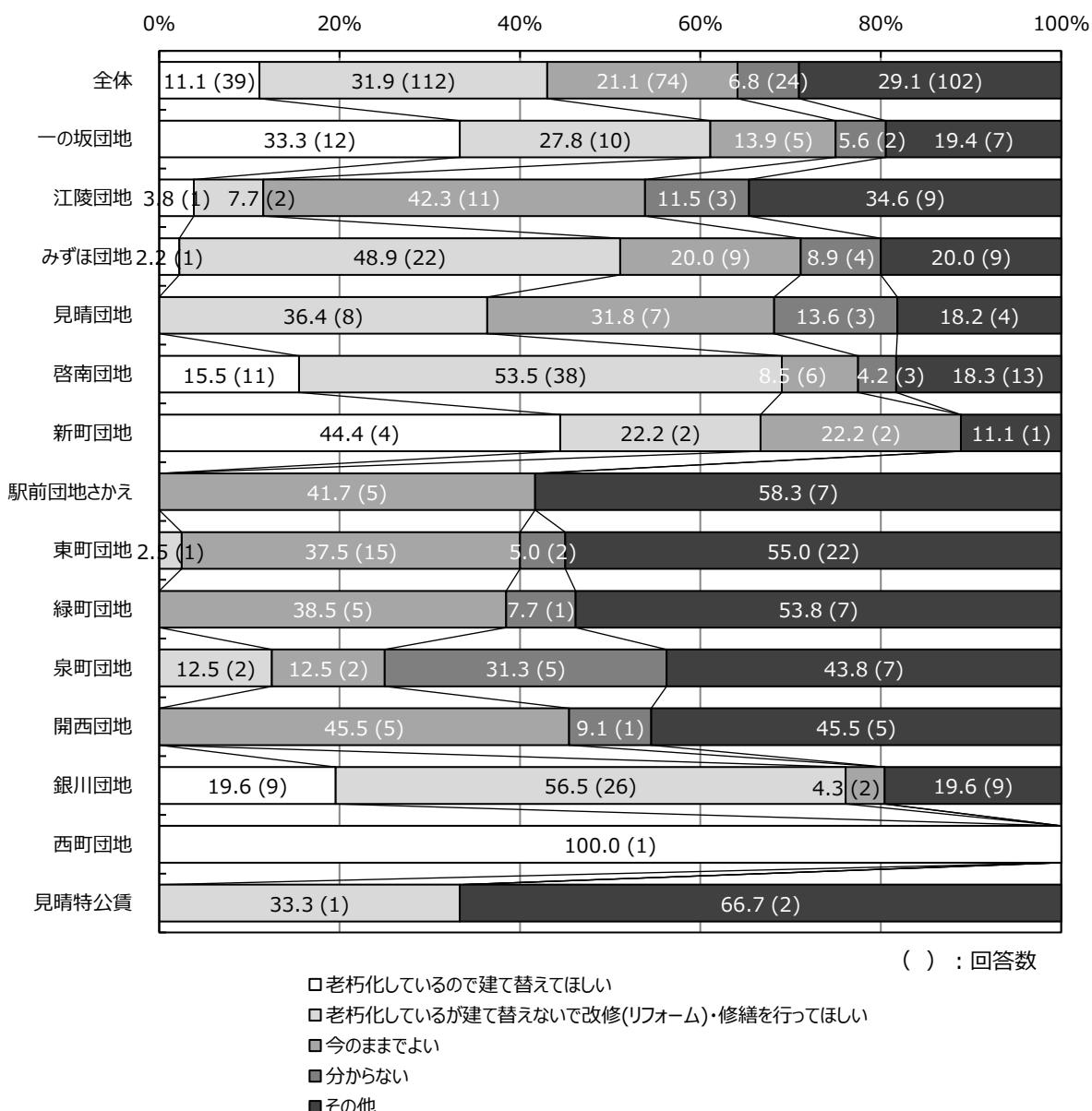
### (3) 住宅や周辺環境の改善などの要望（耐用年数内団地）

#### a. 建替え・改善等の要望

耐用年数内団地について、居住する団地で今後必要なことは、「老朽化しているので建て替えてほしい」が11.1%、「老朽化しているが建て替えないで改修（リフォーム）・修繕してほしい」が31.9%、「今のままでよい」が21.1%となっています。

団地別（回答数5件以上）では、一の坂団地及び新町団地は「老朽化しているので建て替えてほしい」が最も高く、みずほ団地、見晴団地、啓南団地及び銀川団地は「老朽化しているが建て替えないで改修（リフォーム）・修繕してほしい」が最も高くなっています。

図 団地別建替え・改善等の要望（耐用年数内団地）



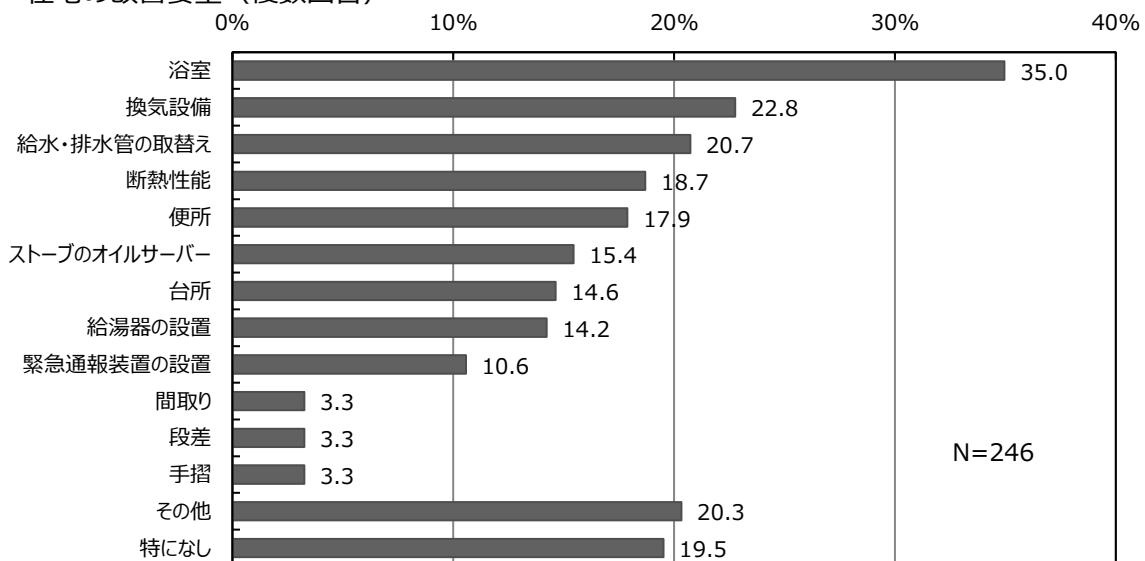


## b. 住戸内の改善要望（複数回答）

aで「老朽化しているので建替えてほしい」、「老朽化しているが建替えないで改修（リフォーム）・修繕してほしい」及び「その他」の回答者について、住戸内の改善要望（複数回答）は、「浴室」が35.0%で最も高く、以下、「換気設備」が22.8%、「給水・排水管の取替え」が20.7%、「断熱性能」が18.7%です。

団地別（回答数5件以上）では、一の坂団地、啓南団地及び見晴団地（特公賃）は「浴室」、泉町団地及び見晴団地（特公賃）は「換気設備」、新町団地は「便所」、みずほ団地及び銀川団地は「ストーブのオイルサーバー（灯油自動給油装置）」、加えて、みずほ団地は「給水・排水管の取替え」がそれぞれ最も高くなっています。

図 住宅の改善要望（複数回答）

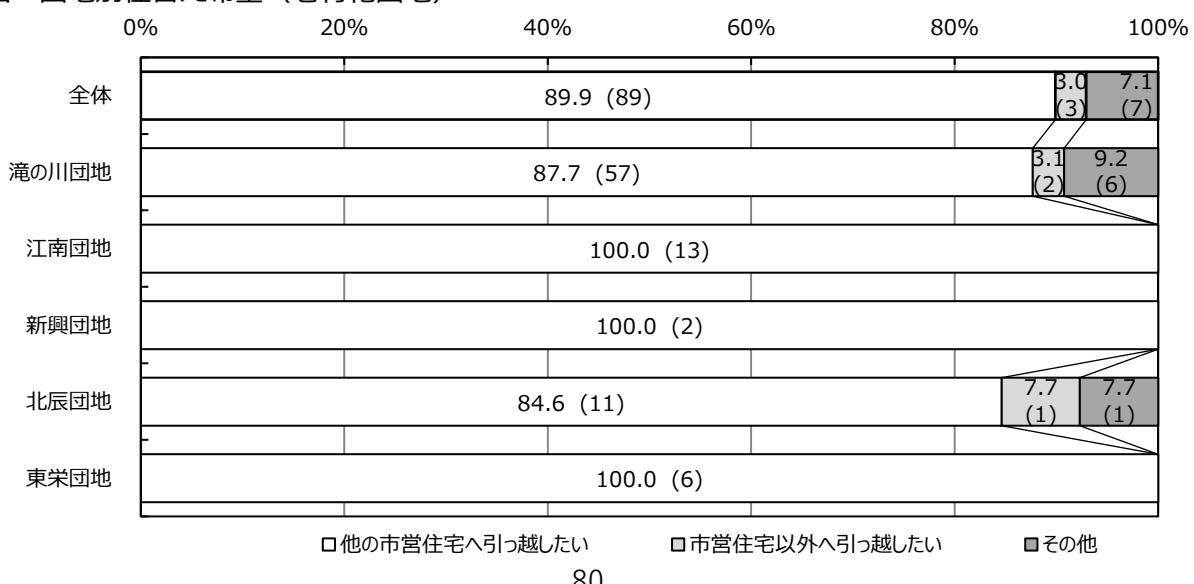


## （4）住替え意向（老朽化団地）

### a. 将来的に居住団地が集約する場合の住替え希望

老朽化団地について、将来的に、居住団地が他の団地へ集約される場合の住替え希望は、「他の市営住宅へ引っ越したい」が89.9%と9割を占めています。

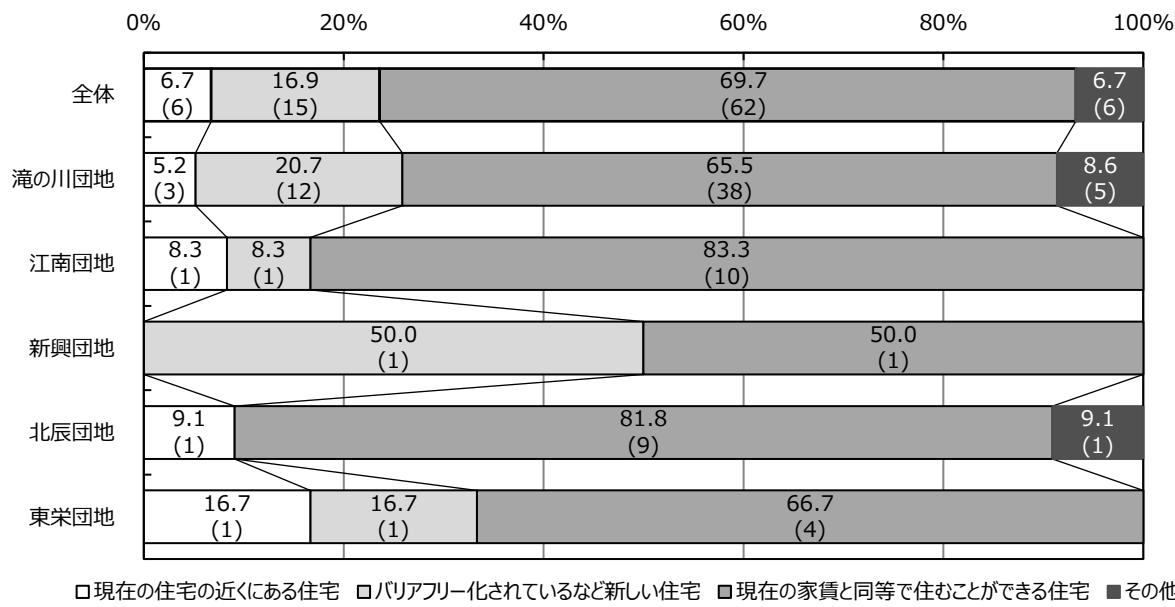
図 団地別住替え希望（老朽化団地）



### b. 入居を希望する住宅の条件

aで「他の市営住宅へ引っ越したい」の回答者の入居を希望する住宅の条件は、「現在の家賃と同等で住むことができる住宅」が69.7%で最も高く、次いで「バリアフリー化されているなど新しい団地」が16.9%です。

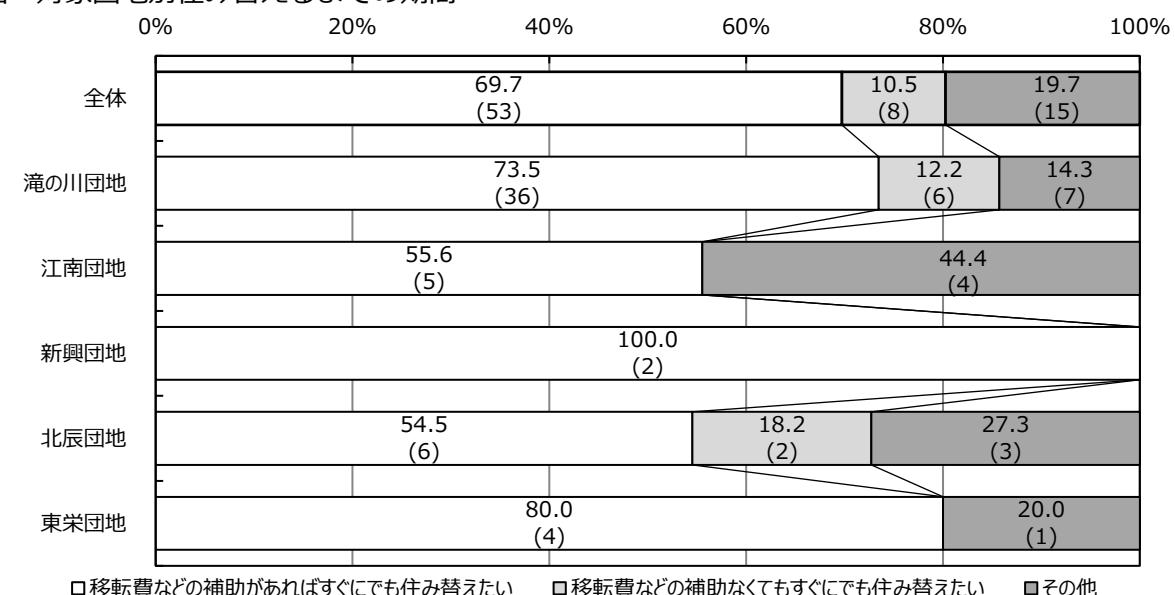
図 団地別入居を希望する住宅の条件（老朽化団地）



### c. 住み替えるまでの期間

aで「他の市営住宅へ引っ越したい」の回答者の住み替えるまでの期間は、「移転費などの補助があればすぐにでも住み替えたい」が69.7%、「移転費などの補助がなくてもすぐにでも住み替えたい」が10.5%（8件）となっています。

図 対象団地別住み替えるまでの期間





## 2. 不動産事業者ヒアリング

### 1 調査概要

#### (1) 調査の目的

本計画及び「滝川市公営住宅等長寿命化計画」策定に向けて、市内の住宅需要を把握するとともに、住宅施策に関する不動産事業者の意向を把握することを目的としています。

#### (2) 調査概要

調査日：令和7年6月23日（月）・6月25日（水）

対象者：市内不動産事業者7社

### 2 調査結果（概要）

#### (1) 中古住宅・土地売買の状況

- 最近は、子育て世帯が物価高騰により新築住宅が建てられないので、中古住宅が人気。
- 空き家の査定依頼は毎年増えている。今は売りたい人の方が多いので、あまりに程度の悪いものは断るようになった。査定依頼を受けた空き家のうち、程度の良い空き家は1割程度。
- 200万円で解体しても、人気のエリア以外で土地を200万円では売れない。
- 本来は、売主が解体してほしい。土地に古い住宅があると若い人は新築後の新しい生活を描けない。

#### (2) 住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居状況

- 高齢者の民賃入居希望が多い。親族がいない高齢者が亡くなった場合に、残置物処分等に時間がかかり家賃が寝てしまう。
- 高齢者は、リスクがあるので市営住宅をお勧めしている。
- 外国人が借りる場合は、戸建てでシェアしている場合が多い。アパートは、トラブルになることがあるので、あまり入れない。高齢者よりは外国人の方が入れやすい。
- セーフティネット住宅の登録制度は知らなかった。大家の中では、リスク承知で入れる人がいるから需要はあると思う。
- 居住サポート住宅は、高齢者であれば、病院が近いなどの市街地でないとメリットがない。エリアを限定してやると良いだろう。

#### (3) その他

- 中古住宅に補助金等の支援をするならば、滝川市全域ではなくエリアを絞り手厚くすべき。もしくは、人気のないエリアへの補助金を倍にするなどすれば需要が出るかもしれない。
- 滝川市の施策は住宅施策と子育て施策が縦割りで別々に見えるので、情報共有してパッケージ化した情報発信等が必要。
- 相続されていない空き家について、固定資産税や、亡くなった時に案内に出す時に、例えば「不要な不動産はここに相談してください。」みたいなことをしてくださると、（市場が）活発になると思う。

### 3. 策定体制・経過

#### 1 策定体制

滝川市住生活基本計画及び滝川市公営住宅等長寿命化計画の策定に当たり、関係所管職員からなる「滝川市住生活基本計画及び滝川市公営住宅等長寿命化計画検討職員部会（以下、「検討職員部会」という。）」及び「滝川市住生活基本計画及び滝川市公営住宅等長寿命化計画策定会議（以下、「策定会議」という。）」にて協議し決定しました。

また、広く市民から意見を聴くため、「滝川市住生活基本計画及び滝川市公営住宅等長寿命化計画策定市民会議（以下、「策定市民会議」という。）」を設置し、関係機関である北海道空知総合振興局職員を含めて意見交換を実施しました。

表 策定市民会議 委員等名簿

(順不同・敬称略)

職務	氏名	所属等
----	----	-----

委員長	田端 千裕	滝川建設協会会長（株式会社田端本堂カンパニー）
副委員長	渡邊 要	北海道宅地建物取引業協会北海道支部 滝川地方宅建協会会長（株式会社渡邊建設）
委員	大阪 聰	滝川建設協会会員（空知興産株式会社）
委員	玉手 和彦	北海道建築士協会空知支部滝川分会副分会長 (有限会社玉手建設)
委員	峯村 征秀	北海道建築士協会空知支部滝川分会副分会長 (株式会社みねるば建築不動産)
委員	南崎 圭太	北海道宅地建物取引業協会北海道支部 滝川地方宅建協会会員（有限会社協和商事）
委員	工藤 博史	滝川市営住宅等指定管理者（滝川ガス株式会社）

オブザーバー	柴田 直子	北海道空知総合振興局 札幌建設管理部建設指導課建築住宅係長
	榮田 民人	北海道空知総合振興局 札幌建設管理部建設指導課建築住宅係技師

事務局	石原 穎康	建築住宅課長
	花田 万敬	建築住宅課課長補佐
	中山 太陽	建築住宅課公営住宅係長
	伴 竜馬	建築住宅課公営住宅係主事
業務委託 (事務局補助)	佐藤 邦昭	株式会社まちづくり計画設計 代表取締役
	松村 博文	株式会社まちづくり計画設計 取締役統括技師
	小形 木綿子	株式会社まちづくり計画設計 取締役統括技師



## 2 策定経過

年 月 日	内 容
令和7年 5月 12日 ～ 30日	滝川市の住宅・住環境に関するアンケート調査 市営住宅に関するアンケート調査
令和7年 6月 4日	第1回 策定会議 開催 主な内容：検討体制・スケジュールについて
令和7年 6月 18日	第1回 策定市民会議 開催 主な内容：住生活を取り巻く現状について
令和7年 6月 23日	第1回 検討職員部会 開催 主な内容：検討体制・スケジュールについて
令和7年 6月 23日 25日	滝川市住生活基本計画策定に係る不動産事業者との意見交換会
令和7年 7月 23日	第2回 策定市民会議 開催 主な内容：住宅施策区域の設定について
令和7年 7月 17日 ～ 29日	第2回 検討職員部会 開催（書面開催） 主な内容：住宅施策区域の設定について
令和7年 8月 8日	第3回 策定市民会議 開催 主な内容：住宅施策の推進方針・重点施策について
令和7年 8月 5日 ～ 13日	第3回 検討職員部会 開催（書面開催） 主な内容：住宅施策の推進方針・重点施策について
令和7年 10月 9日	第4回 策定市民会議 開催 主な内容：計画素案（案）について
令和7年 10月 6日 ～ 10日	第4回 検討職員部会 開催（書面開催） 主な内容：計画素案（案）について
令和7年 10月 21日	第2回 策定会議 開催 主な内容：計画素案（案）について
令和7年 12月 8日 ～ 21日	滝川市住生活基本計画（素案） パブリックコメント（意見募集） (意見提出件数：0件)
令和7年 12月 23日 ～ 25日	第5回 検討職員部会 開催（書面開催） 主な内容：パブリックコメント等の結果について
令和8年 1月 6日 ～ 8日	第3回 策定会議 開催（書面開催） 主な内容：計画原案の策定について
令和8年 1月 31日	成案・公表